



平成20年度秋の叙勲受章者



11月3日に叙勲者が発表され、当会から以下の方々から叙勲受章の栄に浴されました。心よりお慶び申し上げます。

叙勲者の横顔



旭日中綬章（弁理士業務功労）

しもさか すみこ
下坂 スミ子

学歴・職歴

昭和38年中央大学法学部卒業、（現在）下坂・松田国際特許事務所

弁理士会歴

昭和39年弁理士登録(6744号)、平成15年日本弁理士会 会長、昭和63年弁理士会理事(副会長)、平成14年日本弁理士会 副会長、平成13年日本弁理士会執行補佐役、平成7年弁理士会常議員会議長、平成19～20年日本弁理士会監事、昭和51年、平成6年弁理士会常議員、昭和60年弁理士会国際活動委員会委員長、平成7年弁理士会常議員会調整委員会委員長、同 弁理士会常議員会監査委員会委員長、平成15年日本弁理士会発明の日シンポジウム実行委員会委員長、同 日本弁理士会登録審査会会長

公 職

平成2年特許庁弁理士審査会委員、平成6年世界知的所有権機関（WIPO）仲裁センター仲裁人、平成14年経済産業省産業構造審議会臨時委員、同 知的財産政策部会特許制度小委員会、同 知的財産政策部会、平成15年知的財産戦略本部員、同 経済産業省産業構造審議会臨時委員（知的財産政策部会、同流通流動化小委員会）、平成17年知的財産戦略本部員

賞

平成6年黄綬褒章（弁理士業務功労）、昭和54年弁理士制度80周年記念式典特別功労者表彰、平成3、9、16、18、19、20年弁理士会特別功労表彰、平成4、18、20年弁理士会感謝状、平成7年弁理士会永年功労表彰、平成9年弁理士会特別功労表彰、平成11年弁理士制度100周年記念式典特別功労表彰

受章に浴して

この度、平成20年秋の叙勲の栄に浴しました。誠に有難く、これも偏に長年に亘って皆様よりいただきましたご指導ご厚情の賜と、深く感謝申し上げます。なお、この度の受賞に際しご尽力を賜りました特許庁長官鈴木隆史様をはじめとする関係者の皆様、日本弁理士会会長中島淳先生をはじめとする執行部並びに関係者の皆様、同蔵持安治事務局長様をはじめとする事務局の皆様に対し、この場を借りまして心より厚くお礼申し上げます。11月7日に行われました経済産業省の式典当日の設営やご配慮は非常に素晴らしく、深い感銘を受けました。

今のところ、私自身は未だこのように長い年月を生きてきたという実感がございませんで、ただ無我夢中に働き、無我夢中に動き回っているという感じのみで、ゆっくりと過ぎた日々を懐かしく振り返るという心境にはありませんが、ここに至る道中、非常に多くの方々とお知り合いになる機会に恵まれ、多くの方々のお世話になり、多くの方々のお知恵を拝借し、非常に多くのことを学ばせて頂きましたことが、私の持つ宝の全てであると確信しております。

この度の栄誉を機会に、「人生は楽しいもの」をモットーに、今後も日々を過ごし、この度の賞に恥じることはないよう一層精進いたす所存でございますので、何卒従前と変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

**瑞宝小綬章（通産行政事務功労）**ほり こうたろう
堀 宏太郎**学歴・職歴**

昭和 37 年岐阜大学工学部機械工学科卒業，昭和 37 年特許庁入庁，昭和 41～51 年審査官，昭和 51～53 年審判官，昭和 53～54 年審査官，昭和 54～56 年審査長，昭和 57～60 年最高裁判所（裁判所調査官），昭和 60～平成 3 年特許庁，審判長，平成 3 年退官（現在）新宿中央特許事務所

弁理士会歴

平成 3 年弁理士登録（10080 号）

公 職**賞****受章に浴して**

この度の叙勲に際し，日本弁理士会会長様をはじめ多くの方々からご丁寧なご祝詞を頂き，誠に有り難く厚く御礼申し上げます。

私は，これまで特許庁審査官・審判官・裁判所調査官そして弁理士として貴重な経験をさせて頂きました。そして，感ずることは，どの世界にも上には上があるとことです。私は，弁理士の世界において，これからも常に一つ上を目指して毎日努力し，社会のお役に立ちたいと願っております。

**瑞宝小綬章（通産行政事務功労）**かわさき かつひろ
川崎 勝弘**学歴・職歴**

昭和 39 年立命館大学工学部電気工学科卒業，昭和 39 年特許庁入庁，昭和 43～53 年審査官，昭和 53～55 年審判官，昭和 55～58 年審査官，昭和 58 年審判官，昭和 59 年上級審判官，昭和 59～62 年裁判所調査官，昭和 62 年特許庁，審査長，昭和 62 年～平成 5 年審判長，平成 5 年退官（現在）川崎特許事務所

弁理士会歴

平成 3 年弁理士登録（10379 号）

公 職

平成 2～5 年弁理士審査会委員

賞**受章に浴して**

この度，はからずも叙勲の榮に浴し，身に余る光榮に存じます。

これも偏に皆様方の長年のご支援，ご指導の賜物と，深く感謝致しております。また，今回の受章に対しまして，早々と多くの方々からご祝意を賜り，誠にありがたく，心から感謝，お礼申し上げます。

今後は，力のつづく限り，弁理士会の一員として職責を果たしていく所存ですので，どうぞよろしくお願ひ申し上げます。